

## 瀬戸SOLAN小学校第1学年・学年通信



# オンライン学習終了~ありがとうございました~

木曜日の朝。

見慣れたはずの1年生のフロアには、これまでに感じたことのない空気が満たされていました。

「みんな久しぶりー！」

「会いたかったー！」

「元気だった？」

「僕コロナにかかっちゃってね」

「でももう元気になったから大丈夫！」

「今日一緒に遊ぼうね！」

長らく離れ離れになっていた人が再会する場面がテレビで放映されたりしますが、あれとうり二つの状況があちこちで起きていました。

まさしく、感動の再会、対面の瞬間です。

こういう時の子供たちの姿って、本当に素敵ですね。

「会えて嬉しい！」という気持ちを、体いっぱい表現している様子を見て、どんなに会いたかったんだろうなあ、さぞかし嬉しいんだろうなあということがひしと伝わってきて、なんだか私もこみ上げるものがありました。

思えば、約二週間にわたる登校自粛期間、さらにその前からもお休みしていた子にとってみれば、相当に長い間友達と離れ離れになっていたのだと思います。

西野カナではありませんが、対面の日を待ちわびて震えていた子も中にはいたのかもしれませんが。

そんなことを思わせるほど、木曜日の朝の教室・フロアには「感動」や「喜び」が満ちていました。

その姿を見て、「学校に来る意味」を改めて考えました。

「学習内容」に関していうならば、現代は自宅でもほぼ遜色なく、同等の質を受け取ることができます。

大学も高校もそうですが、オンデマンド化（ユーザの要求に応じてサービスを提供する学び）の流れは加速しており、それに伴って自宅で個別に学びを受け取る層がどんどん増えてきています。

コンテンツを受け取るだけなら自宅でも一人でもできるのは、これらの高校や大学がある種証明しているとも言えるでしょう。

では、それでも尚現代において学校に来る意味とは何なののでしょうか。

その一つに、「関係を学ぶ」というものがあるだろうと思います。

すでに、子どもたちは 3 カ月の学校生活を通して、しばらく会えないだけで「再会を待ちわびる」関係を作り上げていました。

その関係は目には見えませんが、内なるものとして確かに存在します。

2 週間会えなくて、だからこそ会えた時に嬉しくて嬉しくて、互いにそれを喜び合っている姿に、学校でともに学ぶ意味を感じずにはいられませんでした。

登校自粛が始まる前のことです。

道徳の授業中に、ある子が感激したようで涙したことがありました。

その涙を近くで見ていた友達は、とても不思議そうな顔をしていました。

その子は、道徳の授業からだけでなく、友達の涙からもきっといろいろなことを感じ、学んだことでしょう。

そして、その友達の存在が自分にとって大きな存在であればあるほど、受け取る学びは深く、大きなものになることでしょう。

「自分の大好きな友達は、なぜあの時に涙を流したのか」

「自分も、そんな世界を感じてみたい」

大好きな人の世界をともに感じてみたい。

そう思えるのが人間のさがというものです。

コンテンツとしてだけでなく、友達との関係や友達の存在からも、学校では大きな学びが生まれていたことを、この登校自粛期間を経て改めて感じたのでした。

また、素晴らしいなあ、ありがたいなあと思ったことはほかにもたくさんあります。

中でも、おうちの方々によるサポートには、本当に助けられました。

操作が難しい時に助けていただいたり、たくさんのプリントを毎日印刷していただいたり、ノートに励ましのコメントを書いてくださったり、一緒に授業に楽しみながら参加してもらったり…

画面におうちの方の姿がチラリと映るたびに、「ありがとうございます」と心の中で唱えながらその温かいサポートの様子を見ておりました。

また、助けてもらっただけでなく、オンライン学習が終わってから、その時の感想などが続々と私たちのところに届いており、そのたびに日々の疲れが吹き飛ぶような感覚を覚えています。

匿名で一部紹介させていただきます。

オンライン授業お疲れ様でした。

初日は環境的にふげる場面が見られ、こちらがハラハラとしました。しかし慣れてくると、授業に取り組む姿勢や、授業の進め方などを見ていると、何だか毎日が授業参観のようで、楽しませていただきました。仕事で参観へ行けない主人も、こうして家で子どもの姿を見ることができ、とてもいい経験をさせてもらえたなぁと有り難く思っております。

また、最初は手を挙げてもらえないことに不満を漏らしていましたが、背景を変えていると手を挙げている姿が見えないんじゃないかとアドレスをしたところ、背景を外したら当ててもらえたようで「一番最初に手を挙げた楓馬さん、といて当ててもらえた！」と嬉しそうに報告しに来てくれました。その後も、画面の前で真っ直ぐ手を挙げている姿が微笑ましく見え、ついついこっそり動画を撮ってしまいました（笑）

そしてモーニングジャンケン！

初日負けてしまった息子は悔しがっていたので、ドンマイと声をかけましたが…

- 勝った人→ラッキーな 1日だね！
- あいこの人→先生と気が合うね！（ふむふむ）
- 負けた人→先生を勝たせてくれて優しい人だね！（なるほど～）

この瞬間、息子の目が輝きました！

言い方一つでこんなに子どもの気持ちが変わるなんて、とても勉強になりました。

solan の先生方は子どもの心を掴むのがお上手だなといつも感心させられます。

この数日間のオンライン授業ありがとうございました。

こんな状況下でも、学び（勉強だけでなく、先生や仲間に出会うこと）を止めることなく、

〇〇が過ごせたことに感謝します。

先生方は大変でしたよね、

少ない人数の中、学年合同にし、まとめることはきっと対面よりも難しかったことでしょう。

また、毎日の抗原検査、

もし、陽性が出てしまったら、のプレッシャーもあったことでしょう。

すべては子どもたちのために、そんな姿勢は、保護者としてありがたく、また先生方のかっこいい姿ですね。

さて、〇〇は、オンライン授業でも、時には、他ごとをやってしまう瞬間もありましたが、

隣で在宅勤務をしておりましたが、

なるべく口出しをせず、

自分で状況を判断できるように、見守りました。

すごい集中力でやっており、

対面でもないのに、すごいなと尊敬しました。

8月1日からは、妹がミライノハコのサマースクールに参加し、朝、私が送っている間は

一人で取り組んでいました。

一年生になったら、当たり前なのかもしれませんが、

周りがどうではなく、〇〇の半年前、3ヶ月前、1ヶ月前と比べると、確実にカッコよくなっています。

授業を一緒に聞かせていただいておりますが、

丹羽先生の読み聞かせ、私が楽しみました、

えみ先生のバイブスーがかわいいですね、

マイク先生の体操？ダンス？はカッコよく、

みれい先生の歌と伴奏に聞き入り、

このみ先生の朝顔の撮影には頭が下がり、

私も一緒に楽しみ、時には参加し、

啓介と過ごす貴重な時間となりました。  
※全部の先生が見れておらず、すみません。

おもしろエピソードは道徳の授業に感動し、大泣きする私に、  
ママ、鼻水まで出てるよー、そんなに感動？大丈夫？  
と若干ひいている〇〇の顔。笑

なぜ、私がそこまで泣いているのか、  
きっと今の啓介には分からないと思いますが、  
いつか、気づく日が楽しみです。  
そして、気づかなくてもよいですしね。

(中略)

たくさんの素敵な先生に囲まれながら、  
キラキラした目で過ごす〇〇を近くで見られることも、  
当たり前ではないんですよ。  
〇〇に関わってくださるすべての方に感謝しています。

長文で失礼しました。  
本日からもよろしくお願いします。

お子さんのことだけでなく、我々担任団のことまで気遣って下さり、本当にありがたい限りです。

モーニングじゃんけんのささやかな声掛けに対しても、道徳の授業の内容に関しても、こんな風に感想をいただけて、とても幸せです。

他にも、電話でお話しした際に労いの言葉をかけて下さる方もあれば、直接感謝のメッセージを届けて下さる方もありました。

登校自粛期間は大変なことのほうが確かに多かったわけですが、子供たち同士の見えないつながりや、おうちの方々の温かいサポートをひしに感じられた時間ともなり、そういった意味で学年全体にとっても貴重な学びを得た時間でもあったように感じます。

改めて数々の温かいサポート、誠にありがとうございました。